

地域の主な概要

松山市南部に位置する田園地帯。荏原地区においては、国指定重要文化財の渡部家住宅をはじめ、県指定文化財の荏原城跡、市指定文化財のハツ塚群衆古墳、四国遍路の始祖といわれる衛門三郎ゆかりの文殊院などの史跡等が数多くある。また、坂本地区は古来、土佐街道の要衝であり、遍路道や四国八十八ヶ所の札所である八坂寺、浄瑠璃寺のほか、明治末期から大正初期に建てられた旧遍路宿を修復し、地元住民と歩き遍路をする人々が交流できる接待所として活用している坂本屋など、四国八十八ヶ所にゆかりのあるゾーンとなっている。

人口は令和元年度に1万人を下回り、令和4年度において9,562人となるなど、年々減少している。また、0～14歳、15～64歳の割合が下降している一方、65歳以上の割合が上昇している。特に0～14歳においては、令和3年度に1千人を下回り、令和9年度には、1割を下回るなど、高齢化とともに少子化が進行している。

【主な地域資源】

- | | | |
|-----------------|-------------------|--------|
| ○文殊院 | ○ハツ塚郡集古墳 | ○渡部家住宅 |
| ○坂本屋 | ○八坂寺 | ○浄瑠璃寺 |
| ○大黒座 | ○子規の句碑（浄瑠璃寺 / 丹波） | |
| ○秋山好古の書碑（正八幡神社） | ○網掛け石 | |
| ○山口霊神 | ○荏原城跡 | ○札始大師堂 |
| ○イブキビヤクシン（浄瑠璃寺） | ○クスノキ（正八幡神社） | |

【文殊院】



【渡部家住宅】



【坂本屋】



【山口霊神】

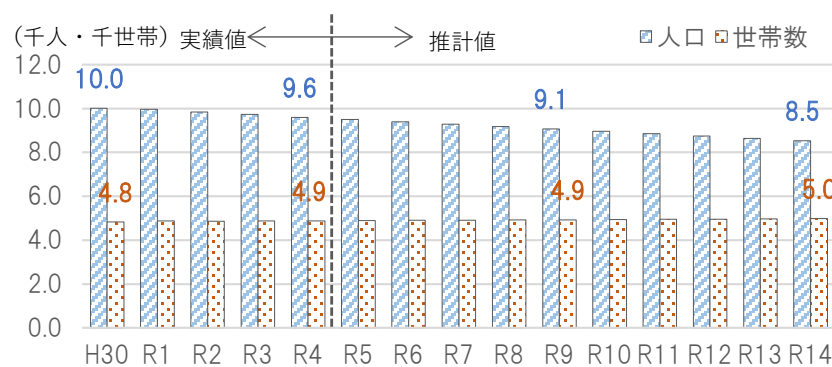


人口・人口構成

【人口集計地区】荏原 / 坂本

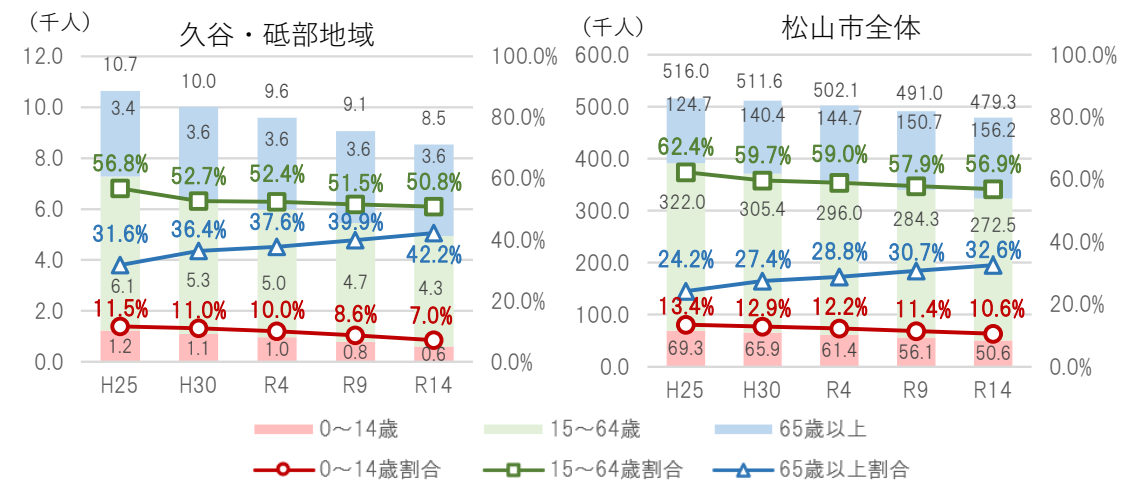
【注意】令和5年度以降の推計値は、過去5年分の動向により、機械的に推計した参考数値です。

久谷・砥部地域の人口推移



出典：住民基本台帳

年齢3区分別人口推移



地区内の主な施設・特長

四国八十八ヶ所ゆかりのお寺などのほかにも、えひめこどもの城や愛媛県立とべ動物園など遊び場としても親しまれる。また、一六本舗本社工場や砥部焼づくりなどの体験ができるスポットがあるなど、産業・文化が体感できる施設などがある。

- | | | |
|--------------|-----------------|-----------|
| ○愛媛県立とべ動物園 | ○愛媛県総合運動公園 | ○えひめこどもの城 |
| ○愛媛県生涯学習センター | ○えひめ青少年ふれあいセンター | |
| ○一六本舗 本社工場 | ○砥部焼観光センター炎の里 | など |

【えひめこどもの城】



【砥部焼観光センター炎の里】



関連計画における方向性

【久谷地区まちづくり計画（久谷地区まちづくり協議会）】

- まちの目標：より久谷の魅力を伸ばし、より暮らしやすい笑顔あふれるまち
- こんなまちをつくりたい
 - (安心安全) 防災・防犯・交通安全対策の行き届いた安全で安心して暮らせるまちにしよう
 - (環境) 久谷の美しい自然環境を守るとともに、農業の活性化を図り住みやすい快適な生活環境を整えよう
 - (福祉) 高齢者や子どもたちが生き生きと安全で安心して暮らせる住みやすいまちをつくろう。
 - (教育文化) 伝統行事や歴史的遺産を子どもたちに継承していくとともに、みんなで次世代の担い手を育てよう
 - (地域振興) 地域の特色を活かすとともに、交流の盛んなにぎわいのあるまちにしよう
 - (広報) 魅力ある情報をわかりやすく発信するとともに、お互いに情報を共有しよう

地域内における特徴的な活動

【フィールドミュージアムアカデミー久谷カレッジ】



■活動主体：フィールドミュージアムアカデミー久谷カレッジ運営委員会（愛媛大学社会共創学部、久谷地区まちづくり協議会、くぼの里山会、松山市）

■取組概要

久谷地域の特性や地域資源の歴史・価値を研究・再評価し、有効に活用することで地域の持続的な発展を目指すことを目的とした事業。

大学生が久谷地区で行われるイベントに参加して地元住民との交流を深めるほか、児童や生徒に対する意識調査やアンケート調査を行っている。研究した結果などの活動報告を通して、若い世代から見た久谷地域の魅力や課題等を地元住民が再認識するなど、シビックプライドの醸成やまちづくり活動への参画につなげている。

【お遍路さんへのお接待】



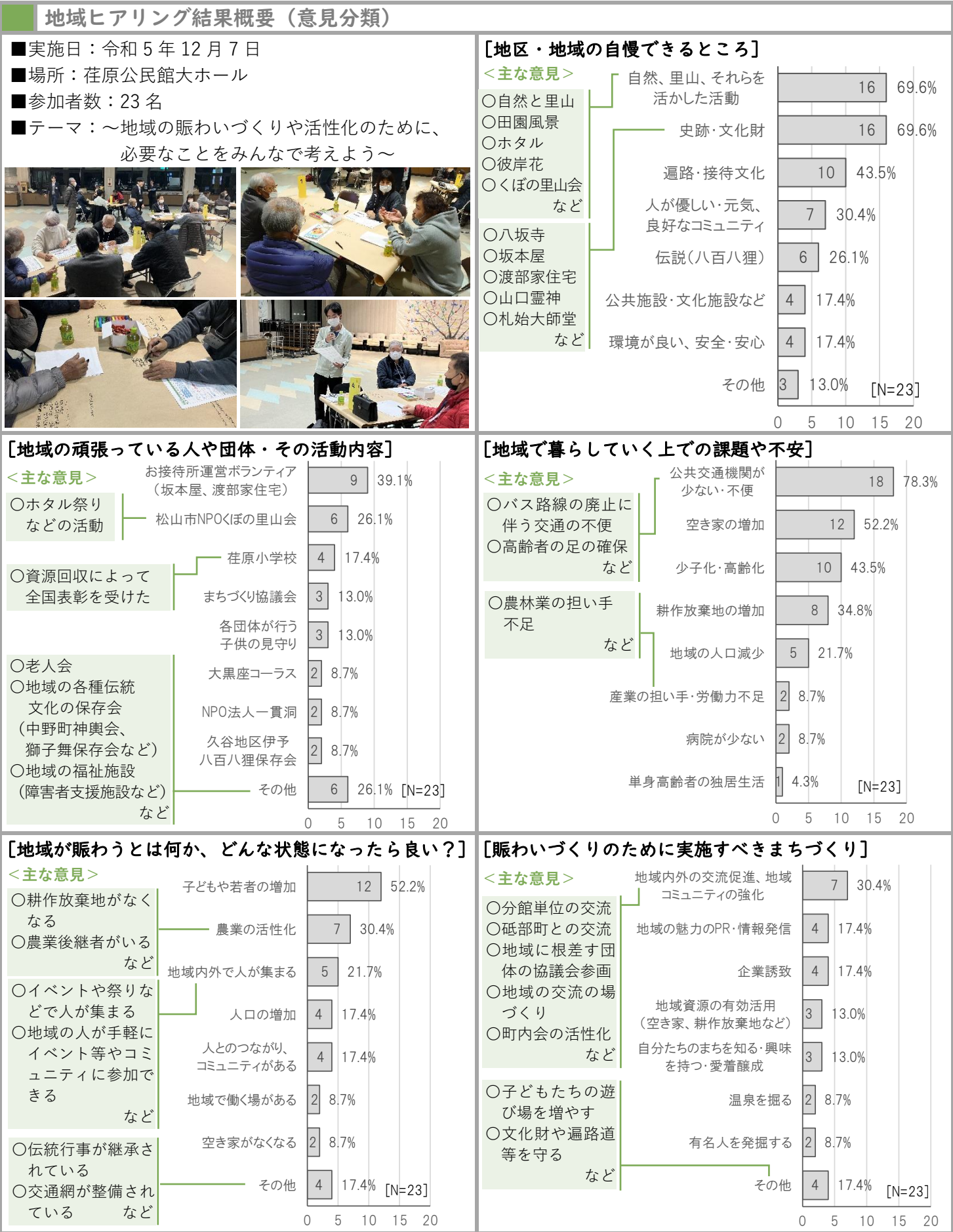
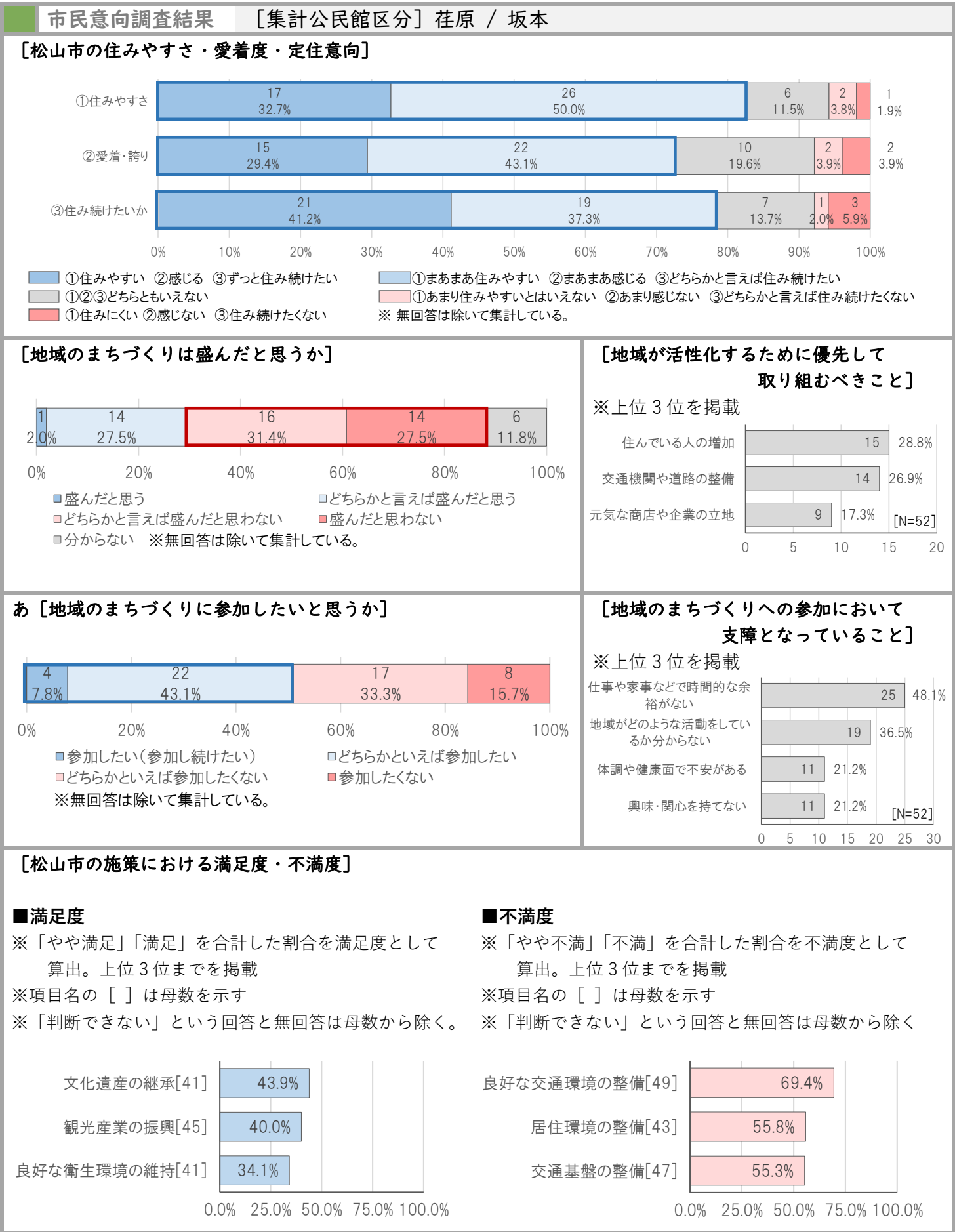
■活動主体：坂本屋運営委員会、渡部家住宅お接待所運営委員会

■取組概要

明治末期から大正初期に建てられた木造の遍路宿「坂本屋」は、平成16年に地元住民と歩き遍路をする人々が交流できる接待所として修復され、地元有志によってお接待、多様なイベント・行事が行われている。

また、国指定重要文化財の渡部家住宅でも、令和3年からお接待が開始され、地元住民のボランティアのもと、全国から訪れる遍路客へのおもてなしを行っている。

久谷・砥部 サブセンターゾーン



忽那諸島 サブセンターゾーン

地域の概要

有人島 9 島を含む 30 以上の島々からなる忽那水軍ゆかりの島。温暖な瀬戸内海の気候条件を活かした柑橘栽培や漁業が盛んで、まつやま農林水産物ブランドのうち 5 品目が忽那諸島の特産品となっている。エメラルドグリーンの海が広がる中島で毎年開催される「トライアスロン中島大会」は、夏の風物詩となっている。

興居島では「島四国」や県の無形文化財に指定された「船踊り」、中島の「道具踊り」や「やっこ振り」、津和地島の「だんじり祭り」、怒和島の「獅子舞」など個性豊かな独自の文化が伝承されている。

人口は令和 5 年度で 4,137 人であり、今後 10 年間で 2,483 人に減少が見込まれるなど、人口減少が顕著となっている。また、65 歳以上の割合が 67.1%となっている一方、年少人口は 2.9%となっており、少子高齢化が顕著となっている。

【主な地域資源】

- | | |
|--------------|-----------|
| ■中島地域 | ■興居島地域 |
| ○皿山展望台（野忽那島） | ○釣島灯台 |
| ○姫ヶ浜ビーチ | ○鷺ヶ巣海水浴場 |
| ○トライアスロン中島大会 | ○相子ヶ浜海水浴場 |
| ○桑名神社 | ○船踊り |
| ○秋山好古の書碑 | ○観音寺 |
| ○忽那義範公表中碑 | ○小富士山 |
| ○ビャクシン自生地 | ○恋人峠 |

【皿山展望台】



【釣島灯台】



【トライアスロン中島大会】



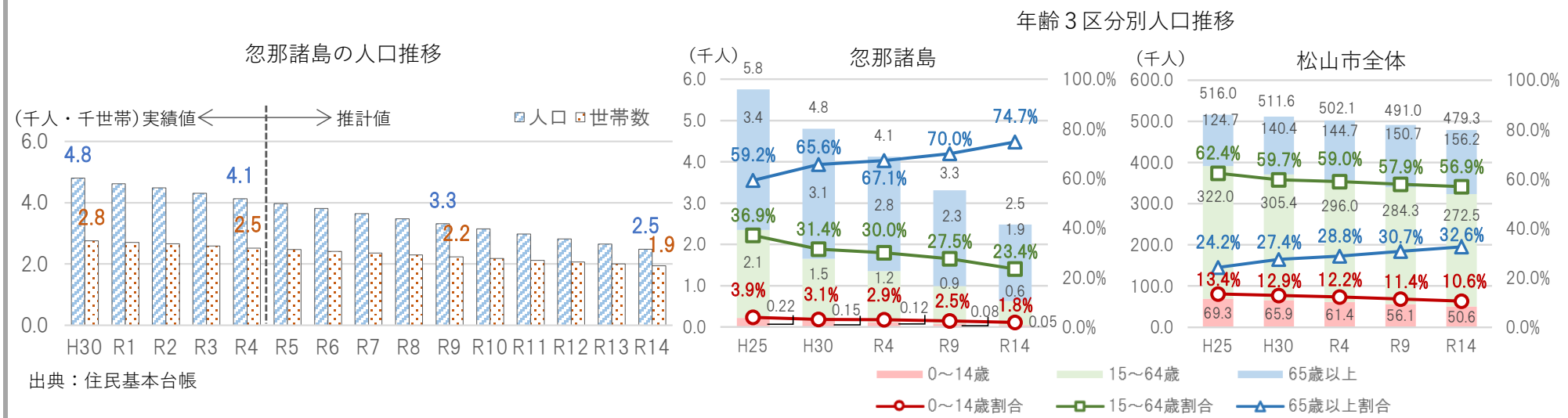
【船踊り】



人口・人口構成

【人口集計地区】由良 / 泊 / 睦野 / 東中島 / 西中島 / 神和

【注意】令和 5 年度以降の推計値は、過去 5 年分の動向により、機械的に推計した参考数値です。



地域内の主な施設・特長

海水浴やキャンプ、マリンレジャーなどが楽しめる施設や体験メニューが提供されている。また、ほしふるテラス姫ヶ浜などの宿泊施設があるほか、お試し移住施設が 2 施設あり、移住の足がかりとしているなど、島の自然や暮らしを体感できる施設が揃っている。

- | | | |
|------------------|-----------|-------------|
| ○中島 B&G 海洋センター | ○大串キャンプ場 | ○ほしふるテラス姫ヶ浜 |
| ○海水浴場（姫ヶ浜ビーチ ほか） | | ○中島総合文化センター |
| ○ハイムインゼルごごしま | ○神浦定住促進施設 | |

【ほしふるテラス姫ヶ浜】



【ハイムインゼルごごしま】



関連計画における方向性

【愛ランド里島構想】

■めざす将来像：島びとが生き活きと輝く笑顔あふれる里の島

■島びとが輝く重点プロジェクト

- (1) 「暮らしやすい島」をめざす取り組み
- ①海上交通の利便性の向上
 - ②安全で安心に暮らせる島づくり
 - ③明日を担う人材の育成
 - ④産物の販売促進・販路拡大
- (2) 「市民の第二のふるさと」をめざす取り組み
- ①定住の促進
 - ②里島ツーリズムの推進
 - ③里島ブランド
 - ④未利用施設の利活用

地域内における特徴的な活動

【里島めぐり】



■活動主体：まつやま里島ツーリズム連絡協議会

■取組概要

「松山島博覧会」で生まれた体験メニュー等を継続して充実させるとともに、「体験」「文化」「食」等を通じた交流を促進することで、地域産業の振興を図り、地域を活性化するために協議会が設立された。

「里島めぐり」では島の地域資源を活用した体験として、各団体が実施する農業体験や自然・レジャー体験、食文化体験、文化・創作体験など、島の魅力や暮らしを体感できるメニューを紹介している。

【空き家バンク、移住体験】

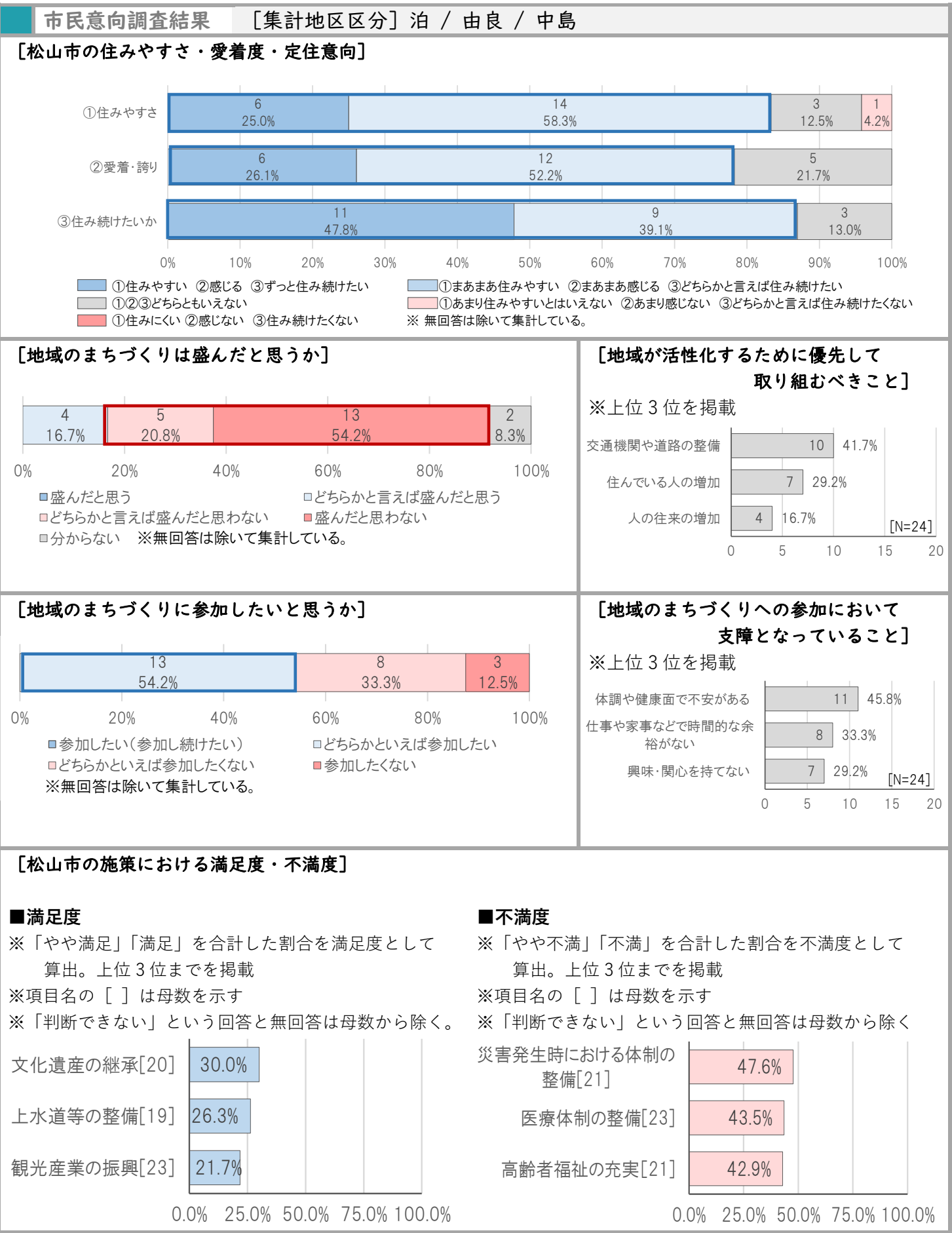


■活動主体：NPO 法人農音

■取組概要

忽那諸島における空き家・売買物件情報を収集・情報提供し、島暮らしに向けた入口づくりを行っている。

忽那諸島 サブセンターゾーン



三津浜・梅津寺 サブセンターゾーン

地域の概要

松山市の西部に位置する三津浜地域は、江戸時代に松山藩の御船手組（船奉行所）が置かれ、漁業・商業のまちとして栄えてきた地域で、戦災を免れたこともあり、かつての港町の面影を残した古い町並みが続いている。また、港町ならではの豊かな魚食文化が育まれているほか、大正時代の一銭洋食までさかのぼる「三津浜焼き」など、独自の食文化が形成されている。

松山への海の玄関口の松山観光港がある梅津寺地域は、小説『坊っちゃん』に登場するターナー島（四十島）や小説『坂の上の雲』の主人公、兄・秋山好古と弟・秋山真之の銅像など、物語ゆかりの地域資源がある。

人口は令和４年度で11,539人であり、年々減少していく見込み。また、0～14歳、15～64歳の割合が下降している一方、65歳以上の割合が上昇している。特に0～14歳は、令和9年度には1,000人を下回る見込み。

【主な地域資源】

- | | | |
|---------------|----------|--------------|
| ○三津浜の町並み | ○三津の渡し | ○森家住宅 |
| ○三津厳島神社 | ○日露戦役表忠碑 | ○石崎汽船旧本社 |
| ○辻井戸 | ○大原其戒の墓 | ○ターナー島 |
| ○栽松碑 | ○白石の鼻巨石群 | ○三津浜焼き |
| ○きせんのりばと子規の句碑 | | ○秋山好古・真之兄弟銅像 |

【三津浜の街並み（旧濱田医院）】



【三津の渡し】



【ターナー島】



【秋山好古・真之兄弟銅像】

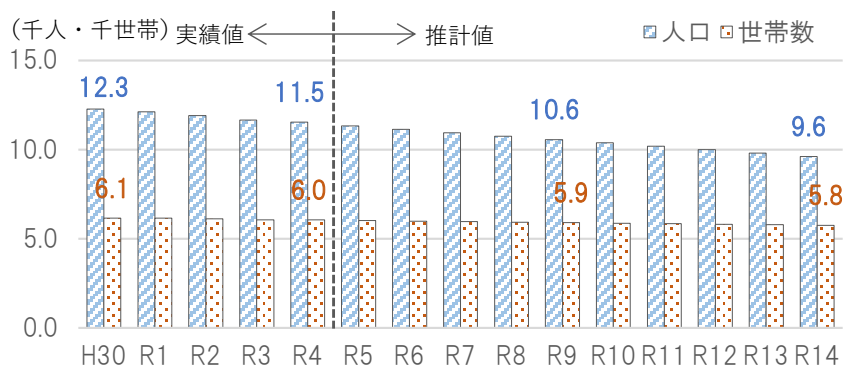


人口・人口構成

【人口集計地区】三津浜 / 高浜

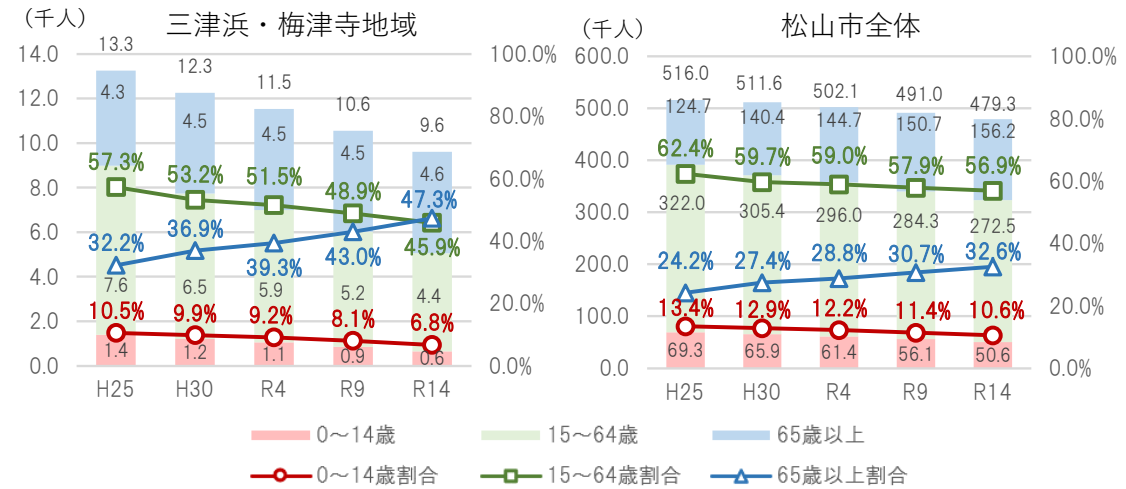
【注意】令和５年度以降の推計値は、過去５年分の動向により、機械的に推計した参考数値です。

三津浜・梅津寺地域の人口推移



出典：住民基本台帳

年齢3区分別人口推移



地域内の主な施設・特長

歴史的なまちなみや水産市場のほか、幼稚園・保育園や子育て支援センター、学校、図書館、公園などが充実している。また、伊予鉄道高浜線もあり市内中心部までの移動利便性も高いほか、松山観光港・三津浜港・高浜港があり、広島・福岡・忽那諸島への玄関口にもなっている。

- | | | |
|--------------------|------------|--------|
| ○三津浜にぎわい創出事務所三津ハマル | ○三津浜図書館 | ○三津ふ頭 |
| ○松山市公設水産地方卸売市場 | ○愛フィールド梅津寺 | ○梅津寺公園 |
| ○松山観光港 | ○三津浜港 | ○高浜港 |

【松山市公設水産地方卸売市場】



【梅津寺公園】



関連計画における方向性

【三津浜地区活性化計画】

■三津浜地区活性化の基本的考え方

『新たなにぎわいと交流の創出に向けて、魅力的なまちづくりに取り組んでいきます。』

■三津浜地区の活性化方針

- 方針1 地域資源を活かし、住民自らが活動できる環境づくりに取り組みます。
（町家バンクの推進・運営支援、民間主導の景観まちづくりに対する支援、にぎわい創出イベントの支援）
- 方針2 外から「行ってみたい」「住んでみたい」と思わせる「魅力」づくりに取り組みます。
（食文化のブランド化、戦略的な誘客施設の検討、港周辺の憩いの場づくり）
- 方針3 多様な「住民」が活躍できる体制づくりに取り組みます
（中間支援組織の構築支援、三津浜地区プロモーション活動の推進）

地域内における特徴的な活動

【三津ハマル（町家バンク・マッチング、リノベーションなど）】



■活動主体：コトラポ合同会社／三津浜地区にぎわい創出実行委員会

■取組概要

三津ハマルは、三津にハマル雰囲気づくりや、ハマレる環境づくりをしていくプロジェクトである。その1つとして、三津浜地域内の空き家・空き店舗の増加を受けて、空き家の家主と三津浜での出店・移住希望者とをマッチングする町家バンクを実施している。また、シェアショップやチャレンジショップとして空き家・空き店舗をリノベーションし、テナント運営をするなど、三津浜での出店・移住やまちの賑わい創出につなげている。

【三津浜焼きのブランド化・PR推進】



■活動主体：平成船手組 / 三津浜地区にぎわい創出実行委員会

■取組概要

「三津浜焼き推進プロジェクト」として、三津浜焼きの参加協力店とともに、スタンプラリーなどのキャンペーンや、「ご当地こなもんサミット」などの市内外で行われるイベント等に三津浜焼きを出店するなどして、三津浜焼きのPRや食文化を通じた三津浜地区の活性化に貢献している。

- 子どもから大人まで参加しやすいイベントづくり
- イベント等の持続
- 全ての住民が参加・連携したまちづくり
- 子育てしやすいまちとしてのPR
- 子どもを巻き込んだ地域づくり
- 子どもの見守り・子どもが安心して暮らせる環境づくり

など

風早 サブセンターゾーン

地域の概要

松山北部に位置する風早（北条）地域は、河野氏の氏寺・発祥の地である「善応寺」や河野氏の祈願寺である「高縄寺」のほか、河野水軍の戦勝祈願である「鹿島の櫓練り」など、中世伊予の豪族である河野氏ゆかりの歴史や文化を有している。また、キャンプ場や海水浴が楽しめるビーチがある鹿島や、ブナの原生林が広がる高縄山など豊かな自然に恵まれた地域である。

風早地域には、市の無形文化財に指定されている「伊予万歳」をはじめ、獅子舞保存会が8団体あるなど、伝統芸能が伝承されている。また、郷土料理の「北条鯛めし」は、ブランド化が進められており、文化庁が認定する「100年フード」に認定されている。

人口は令和4年度で25,343人であり、年々減少している。また、0～14歳、15～64歳の割合が下降している一方、65歳以上の割合が上昇している。

【主な地域資源】

- | | | |
|------------------------|-------------|-------|
| ○善応寺 | ○高縄寺 | ○鎌大師堂 |
| ○伊予の二見 | ○鹿島 | |
| ○神輿おとし（國津比古命神社） | ○虚子の胸像と句碑 | |
| ○子規の句碑（粟井坂大師堂） | ○一茶の句碑（最明寺） | |
| ○子規・漱石生誕百十年記念碑（粟井坂大師堂） | | |
| ○北条鯛めし | ○エヒメアヤメ | ○伊予万歳 |

【善応寺】



【高縄寺】



【鹿島】



【伊予の二見】

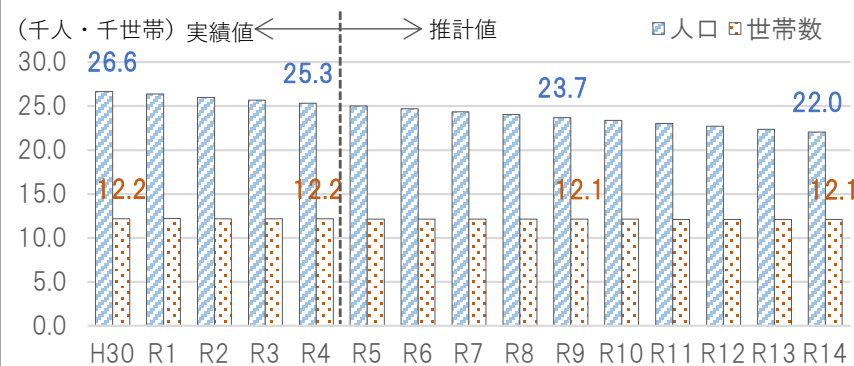


人口・人口構成

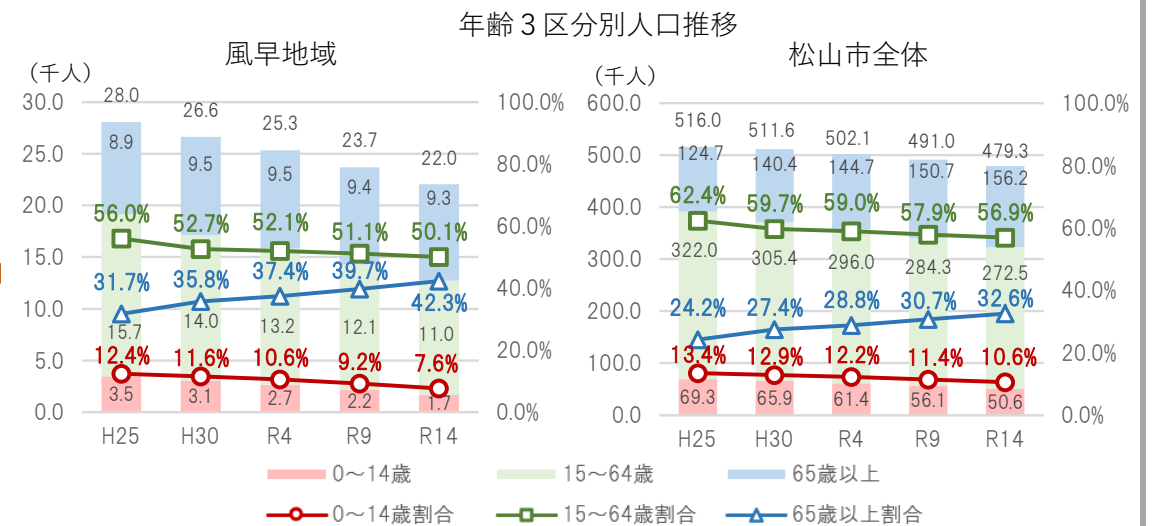
〔人口集計地区〕浅海 / 立岩 / 難波 / 正岡 / 北条 / 河野 / 栗井

【注意】令和5年度以降の推計値は、過去5年分の動向により、機械的に推計した参考数値です。

風早地域の人口推移



出典：住民基本台帳



地域内の主な施設・特長

豊かな自然を活かした農業・漁業が盛んで、市内唯一の道の駅「風早の郷風和里」では、野菜や魚介類などの地元産品が販売されている。また、海水浴場やキャンプ場など、自然を活かした施設があるほか、北条スポーツセンター、図書館、文化の森公園など、スポーツ・文化施設も集積している。

- | | | |
|----------------|----------|--------------|
| ○文化の森公園 | ○北条ふるさと館 | ○漁港（浅海、柳原など） |
| ○海水浴場（立岩、新開など） | ○風早の長浜海岸 | ○北条スポーツセンター |
| ○道の駅「風早の郷 風和里」 | ○かしまーる | ○波妻の鼻わくわくランド |

【文化の森公園】



【道の駅「風早の郷 風和里」】



関連計画における方向性

【松山市風早レトロタウン構想】

- テーマ
昭和の賑わいを求めて
- 全体ビジョン
再生：かつての輝きを失った“地域の宝”をよみがえらせる取り組み
継承：先人から受け継がれている“地域の宝”を次世代に引き継ぐ取り組み
創造：その土地に根差した歴史・風土等を活かして、新しい“地域の宝”を生み出す取り組み
- 5つのポイント
資源活用/環境整備/情報発信/交流促進/協働推進

地域内における特徴的な活動

【風早にぎわいレトロまつり】



■活動主体：風早まちづくりネットワーク

■取組概要

北条地域を活性化するため、地域資源の魅力を発信するイベント「風早にぎわいレトロまつり」が開催されている。イベントでは、北条地域の団体等が北条鯛めしなどの飲食や手作り雑貨の販売をするほか、北条高校吹奏楽部の演奏や伊予万歳・獅子舞の演舞が行われるなど、北条地域の魅力が詰まったイベントとなっている。

【かざはや楽市】



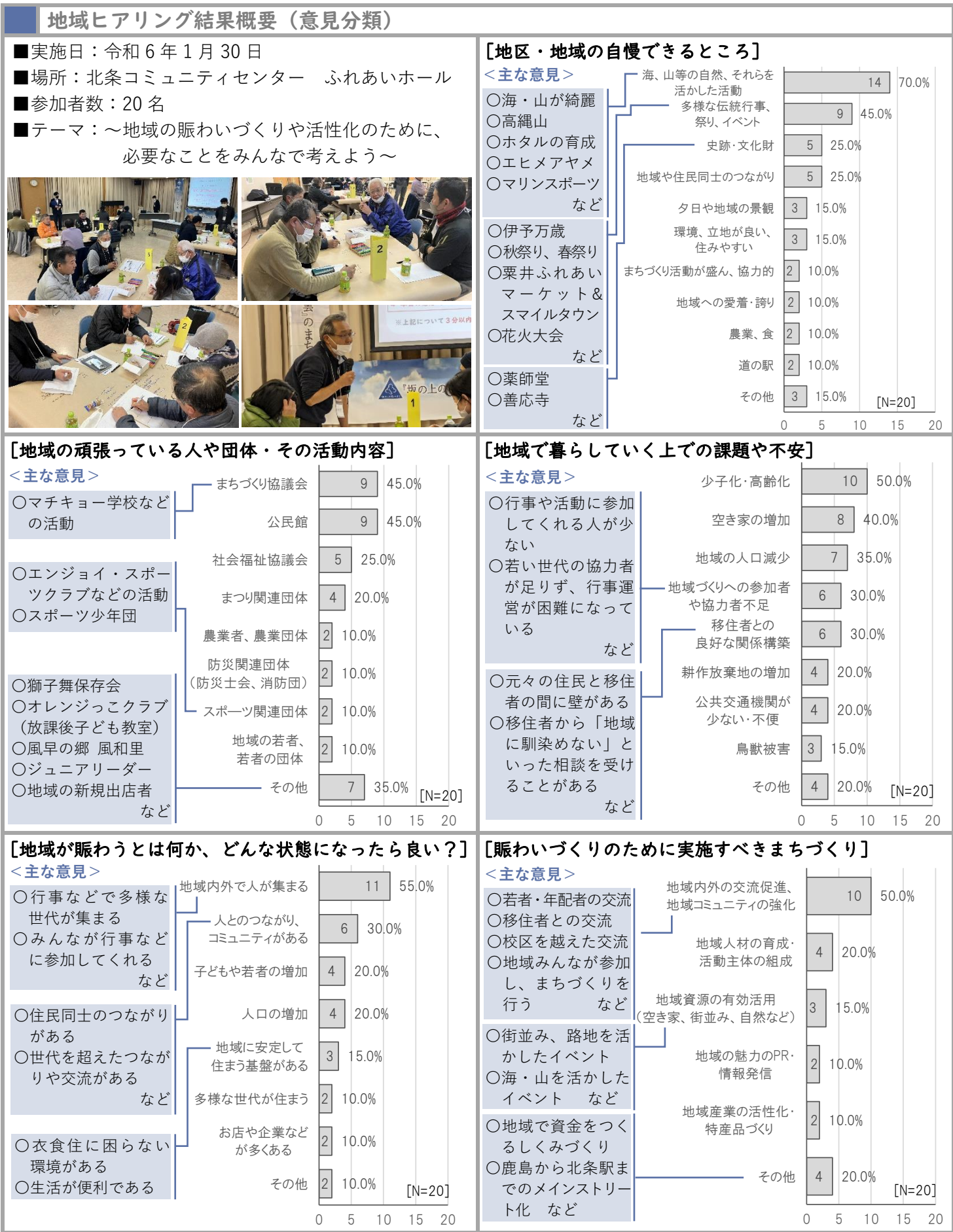
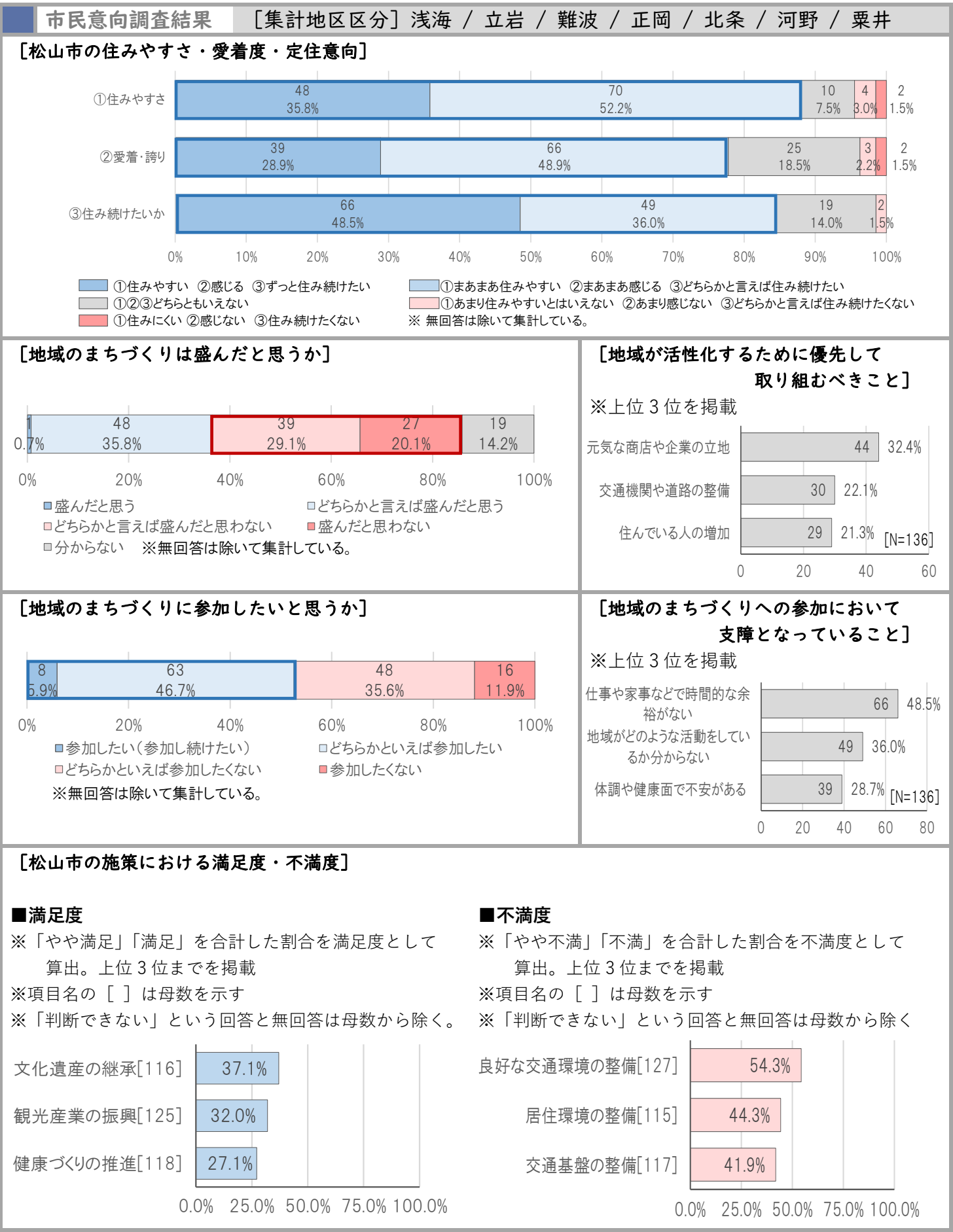
■活動主体：北条地区まちづくり協議会

■取組概要

北条地区まちづくり協議会が JR 伊予北条駅前通りにて、飲食や雑貨の販売、体験ブースなどを出店するほか、地元バンドによる演奏などを行うイベント「かざはや楽市」を年に数回開催し、地域住民の交流の場づくりや駅前通りの活性化につなげている。

新型コロナウイルスの影響により約3年半休止していたものの、令和5年に通常開催に戻り、イベントには多くの方が来場している。

風早 サブセンターゾーン



参考：アンケート結果全市比較資料

